



D.I. 質問箱

Q21

クラミジアニューモニエの判断基準とデータの解釈について教えてください。

A21

クラミジアニューモニエは、主に肺炎、気管支炎、急性上気道炎などの呼吸器感染症を引き起こします。

（注）表2の解釈は臨床症状のある方を対象としています。

成人の場合、小児に比べて感染既往抗体により弱陽性を示す頻度が高くなります。

再感染時は、IgG が強陽性となります。

◆クラミジアニューモニエ 判定基準（表1）

判定	インデックス	測定結果
陽性	強陽性	3.00以上
	弱・中陽性	1.10～2.99
判定保留	0.90～1.09	±
陰性	0.90未満	—

◆クラミジアニューモニエIgGとIgAの組み合わせ判定の解釈（表2）

IgG	IgA	判定の解釈
++	++	急性あるいは現在の感染の疑いが非常に高い
+	++	
++	+	
—	++	
++	—	感染の疑いが高いが、抗体価上昇の途中である可能性もあるため、再検査必要
+	+	
—	+	感染の疑いがあるが、感染既往の場合もあるので再検査が必要
+	—	
—	—	感染の疑いは低い、抗体価上昇前である場合、可能性もあるので再検査必要（※臨床症状のある方）

お問合せ：学術データインフォメーション（DI）まで

0120-14-8734（フリーダイヤル） / 082-247-4325（ダイヤルイン）



きやうぽーい

鈴木中人さんは、デンソー時代から【心の生き様に触れる】管理職マネジメントセミナーを企画運営されていました。数年前、私もデンソーの管理職研修に参加させていただいたことがあります。当時、「目に見えないものを感じる力を養うことが大切ですね」と優しい面持ちでお話いただいたのがとても印象的でした。帰りの新幹線で温かい気持ちになったのを今でも覚えています。

講演を聴き終えて、人が元気になるのは、やっぱりヒトなんだなって思いました。2006年、検査センターの方針は【心を込めて対応する】です。私たちの心が届いて、多くの先生方の笑顔に出会えたら・・・考えたらとても幸せな気持ちになります。

藤本 誠

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博